

| | | |
|------|----------|---|
| 試験科目 | N2 精神看護学 | |
| 学籍番号 | 氏 | 名 |

第1~12, 16~20問の回答はマークシートに、第13~15, 21~24問の回答は問題用紙に記入して下さい。

- 精神疾患の原因について、誤っているものを2つ選んで下さい。
 - 身体疾患によって脳が二次的に障害される精神疾患を、症状精神病という。
 - 遺伝因子によって病的過程の生じることが確認されたものを、内因性精神病という。
 - 内因性精神障害の発病には、心理社会的要因も関与している。
 - 内因性精神障害には、統合失調症、躁うつ病、てんかんが含まれる。
 - 外因性精神障害には、器質性精神病と症状精神病が含まれる。

- 主な精神症状について、正しいものを2つ選んで下さい。
 - 感覚障害の一種である幻聴は、気分障害には見られない精神症状である。
 - 思考途絶は、統合失調症に特有の思考障害である。
 - 両面性は統合失調症の患者に多いが、軽い症状は健常者にも見られる。
 - 統合失調症の患者には、作為体験が見られることが多い。
 - 境界性パーソナリティ障害の主な特徴は、誇大性、賞賛への渴望、共感性の欠如である。

- 意識障害と痴呆(認知症)について、正しいものを2つ選んで下さい。
 - 意識障害には、必ず脳の器質的な原因疾患が存在する。
 - 傾眠は、比較的重度の意識混濁である。
 - 老人の夜間せん妄は、意識混濁に意識内容が加わった複雑な意識障害である。
 - 認知症の主な中核症状は、記憶障害と強い不安・焦燥である。
 - フリツハイマー型認知症を発症して間もない患者の多くは、知的な能力の低下をある程度は自覚し脳んでいる。

- 統合失調症の病型と、それぞれの特徴について、誤っているものを2つ選んで下さい。
 - 発病する年齢が若い方から順に並べると、緊張型、妄想型、破瓜型(解体型)である。
 - 薬物療法が比較的有効で改善も早いのは、緊張型である。
 - 統合失調症の病型は固定的なものではなく、相互に移行する場合もある。
 - 陰性症状がもっとも顕著にみられるのは、緊張型である。
 - 妄想型が慢性化すると、パーソナリティ障害をきたしやすい。

243

次頁あり